

令和2年度第2回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 令和2年10月14日（水） 午前10時から午前11時45分まで

場 所 日進市役所本庁舎4階 第1会議室

出 席 者 高木伸治、福安克彦、市川耕一、鵜飼宏成、山田慎太郎、三村剛、高岡俊彦、堀修（敬称略）

欠 席 者 亀倉正彦、小金澤衣里（敬称略）

事 務 局 石川達也（総合政策部長）、和田徹（同部調整監）、杉田武史（同部次長兼企画政策課長）、安彦直美（同課課長補佐）、河合一成（同課市政戦略係長）、志水崇法（同課同係主任）

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有（6名）

次 第 1 開会
2 議題
（1）第1期日進市総合戦略の総括について
（2）日進市人口ビジョン（改訂版）の案について
3 その他
第6次総合計画の策定スケジュールについて
4 閉会

配 付 資 料 資料1 第1期日進市総合戦略総括報告書（案）
資料2 日進市人口ビジョン（改訂版）（案）
資料3 第6次総合計画策定スケジュール
補足資料 令和2年度第2回総合戦略推進委員会における補足資料

	1 開会
	（傍聴者入室）
	2 議題
委 員 長	議題（1）第1期日進市総合戦略の総括について、説明をお願いします。
事 務 局	（資料1に基づき説明）
委 員 長	ただいまの説明についてご意見、ご質問をお願いします。これより30分程度、質疑応答と意見交換の時間を取りたいと思います。まず、今の報告について質問などがありましたら最初に確認したいと思います。
委 員	基本目標1に関して、「安心して子育てできる環境である」と感じる市民の割合が近隣市町と比べて高いのは非常に良いことだと思います。理由は何だと考えていますか。
事 務 局	本市は子育てのまちとして、これまでも子どもが1年に1,000人以上増えている時期もありました。そのため、子育て施策を他自治体に比べ多く取り組んできたという実情があります。また、子どもが沢山いるという環境自体も良

	い傾向に働いているのではないかと考えております。指標が下がっている自治体に関しては、人口が減少しており子どもの数も減少しているところもあります。本市は若い世代が多いということが、指標が高くなっている理由ではないかと考えております。
委員	色々な施策を行っているのであれば、具体的に表現した方が良いと思います。従来の施策を継続するという表現も良いと思いますが、具体的にこの施策を進めるという表現にした方が理解しやすいと思います。
委員長	エビデンスに基づいて検証できる場所は、せっかくの機会なので表示していく方が良いと思います。その方が皆さんにとって易しく、理解を促していただくと思います。これは今後の課題になっていくと思いますので、次回は当初の段階からデータを収集し、相関や対比という視点を交えながら分析をする姿勢で取り組むことが重要だと思います。次回に向けて課題提案だと思っておりますので、一度検討してください。
委員	「公共交通利用の不満割合」ですが、平成29年から平成30年に大きく上昇しているの、ここで何かあったのでしょうか。また、数字が増えた不満の原因があるのであれば、その対策を今後に向けてやっていくことが良いのではないのでしょうか。
事務局	資料1の5ページにある総合的な評価に記載のとおり、平成29年度にくるりんばすの路線改編及び価格改定を行っておりますので、これが影響していると考えております。また現在、この不満を解消するために路線の見直し等の検討を進めているところです。
委員	いつまでに見直すのか決まっていますか。
事務局	すでに始めており、可能であれば来年度から部分的な見直しを考えております。また、抜本的な見直しについては、地域公共交通計画を定めてからとなりますので、来年度と再来年度の2か年で地域公共交通計画を策定し、令和5年度から進める予定です。総合的な評価にも記載しておりますが、くるりんばすだけで市民の皆様の移動を支えることは非常に難しく、現在、福祉関係の移動サービスなど、その他の様々な移動サービスの検討を進めています。
委員	「日頃バスを利用する人の割合」が3割程度となっています。私はほとんど車移動のため、交通の便にはそれほど不満がありません。しかし、車の運転ができなくなると公共交通機関に頼らざるを得ません。その時に様々な手段があればよいと思います。おそらく、くるりんばすだけでは拾いきれないと感じています。様々な移動サービスの検討を進めているということですので、ぜひともよろしく願います。
委員長	質問から提案だと思います。評価の中での書き込みは後ほど確認したいと思います。
委員	転出について、年代別の集計はありますが、地域別の転出状況があれば、地域ごとの特徴がわかるのではないのでしょうか。

事務局	現在あるデータでは地域ごとの転出状況は集計できません。
委員長	他に質問がなければ、意見やコメントも含めてお願いします。今回の中で反映するものもあれば、次回の課題としていくものもあると思います。
委員	次回以降の要望になると思います。問題と課題の定義付け、さらに問題を解決するための要因分析を行い、具体的な施策、つまり課題が見えてくると思います。課題に対する目標値、KPIの設定をしっかりと整理されると、次回以降は理解しやすくなると思います。
委員長	<p>これは当初からの検討事項だったと思っています。ご指摘のとおり、多くの人が問題と課題を一緒に考えてしまいます。問題と課題は種類が違うため、定義をしっかりと定めて記述をお願いしたいと思います。</p> <p>くるりんばすを含めた地域の公共交通機関、移動を支える交通手段に関して、検討を進める必要があるとなっています。地域公共交通計画の中で検討され、それを受けて総合戦略でも利用するという指摘があっても良いかと思います。評価で現状を分析し、問題をはっきりさせ、課題を考えただけでも、その対策を講じる時には、この計画によらないと具体的な施策は講じられない。もしくは、民間との共同でより良い体制を整備していくことが計画の中に盛り込まれるのであれば、そのような内容を総合戦略で言及してもおかしくないと思います。評価で既にわかっていることについては、情報を総合戦略の中に記載しても問題ないかと思います。意見ですのでお考えいただければと思います。適切なインフォメーションを市民の方に与えていくことで、今後の見通しに繋がるものです。ご検討いただければと思います。</p>
委員	基本目標1の「第2期総合戦略に向けて」に関してですが、「施策1-2 ライフステージに合わせた定住化支援」の中にシティプロモーション映像制作事業が平成28年度に実施されたとなっています。これは総合的な市のプロモーションの内容だと思いますが、「第2期総合戦略に向けて」の中で「子育て世代が安心して地域で生活できる」、「仕事と子育てが両立できる」、「教育基盤の整備」とあります。今後、PRという意味ではこういった内容を目標に掲げたものに特化したプロモーションというものを、SNSを含めて次の段階で取り組んでいければ、より日進市内外にPRが図れると思います。特化した内容のプロモーションを考えられているところがあるとも耳にしますので、検討されてはと思います。
委員長	<p>すでに行われている施策の関連や「第1期総合戦略の基本的な施策の方向」にある「ライフステージに合わせた定住化施策を図っていきます」ということの、より具体的なイメージをシティプロモーションとして映像や情報発信により、多くの人に周知していくというご提案だと思います。必要性が高いと委員の皆さんが考えられての発言だと思います。記載について少し工夫などしていただければと思います。</p> <p>また、お気づきの点があれば最後に戻って議論を進めても良いと思います。</p>

	議題（１）を一旦終了し、議題（２）に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。
事務局	（資料２、補足資料に基づき説明）
委員長	ただいまの説明についてご意見、ご質問をお願いします。
委員	<p>自分なりに整理すると、大きく２つに分かれると思います。１つは若い女性を如何に家から外に出して働き手とするか。そのためには市の施策、支援が必要になってくると聞こえました。ただ、支援という場合に税収面、つまりお金の対応について欠けていると思います。それが産業振興などの色々な話に繋がっていくと思いますが、現状、新しい産業を誘致したい場合に、税収面だけでその支援が成り立つのでしょうか。絵に描いた餅にならないようにするための分析が足りないと感じます。</p> <p>もう１つはシニア層への対応です。日進市から瀬戸市や名古屋市へ住民が移動していますが、瀬戸の場合は安い土地を目指して、名古屋市の場合が一番大きなメリットは公共交通の利便性で、高齢者は地下鉄や市バスを無料で乗車できる点だと思います。それも含めて、せつかく移動するのであれば名古屋市に移りたいと思う、しかも大きな家はいらぬから駅に近いところへ移りたいと思う方々に対して日進市に留めるための施策が本当にくるりんばすだけでいいのかと思います。ただ順調に人口が増えて嬉しいですねという話だけでなく、将来自分たちの強みになるような中長期的な施策ということが少し欠けていると思います。今後どうしていくのか、もう少し深掘りされた方がいいのではないかと思います。</p>
事務局	人口ビジョンは現状を分析するものになっており、今後、施策として記載していくものは総合戦略になります。ご意見の部分は目標とするまちの姿で足りないというご指摘で、有識者の意見として記載すべきであると認識しましたので、それらを踏まえて第２期総合戦略の施策として反映していきたいと思っています。
委員	税収面に関して大事なデータがないです。市の財政としてどうなっているのかがないと、分析として議論できないと思います。ない袖は振れないと思いますので、対策として行うだけの余力があるのか、あるいはもっと富裕層を呼び込まなければいけないのかという施策に繋がると思います。具体的に懐事情は大丈夫ですかということです。
事務局	財政については人口ビジョンには欠けている部分で、財政面についての計画は、市の財政部門が持っております。
委員長	人口ビジョンは人口についての推移をより詳細に検討していく資料です。おそらく今のご指摘は、対策を講じていく、あるいは戦略をしっかりと立案した結果を表現していくというものが別に存在したとして、そこに盛り込む内容の分析をどこで行うかということだと思います。分析の公開がなく結果のみがあった場合、理解が十分に追いつかない部分があるということだと思います。

	<p>す。往々にして、時間との兼ね合いで、時間切れにならないよう早めに対策を講じるべきところだと思います。もう1つ言えることは、データはあるが、それを上手く解析に結び付けて分析できていないところもありそうなので、あるものは使ってしっかり現状を把握して見通せるようにする、ないものについては数字では捉えきれない部分になるかもしれないので、具体的な例やエピソードを聞きながら対策を講じていく必要があると思います。それが調査であり分析だと思います。提言書なり計画書は、それを踏まえたものの要素をまとめて提案していく趣旨のものだと思います。しっかりと資料自体を振り分ける形でご検討いただいた方が、より広く分かりやすいと思います。</p> <p>16ページの「理想の子ども数」について、2018年の市民意識調査の結果が述べられています。当初0人と回答した方が33.6%になっており、前回調査より18.4%増えています。これが異常値なのか、何か他の原因があるのかを探るためにはもう少し長い時系列の調査を行わないと、飛び抜けて高いと評価するのか、定期的に何か別のイベントが起きて必ずこのようになるのかを評価できません。2地点間だけ、短い前回の間だけのことを採ることは解釈上危険が伴ってきます。そこだけは注意した方が良いと思います。データがあれば比較した上でコメントした方が良いと思います。</p> <p>もう1つは20ページの「年齢階級別の人口移動」について、50-69歳の転出増という事実としての数字が出ています。これはこの中で述べることかわかりませんが、マーケティング的な発想であると、ライフステージによって考え方がだいぶ違ってきます。ライフステージとは年齢ではなく、子育てが終わったなどのことです。そう考えると、子どもから手が離れてくると、動きやすくなるというように、ライフステージが変化しライフスタイルも変えていく可能性があります。色々な解釈ができます。分析のところだと思いますが、視点を増やしながら考えていくとどんな層が具体的に外に出ていくのかということが解釈し直せるかもしれません。</p> <p>他に質問がなければ、今の説明などを勘案しながら、個人の立場で結構ですので、41、42ページの意見を出し続けたいと思います。所感、方向性、策定にあたってと進めるのが明確ではありますが、色々な角度から意見が出るとしますので、3つの視点に気を付けながら、自由に発言をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>まず、日進市の課題や将来展望で、説明でもありましたが高齢者対策が必要だと感じています。1つは交通手段の対策で、もう1つは買い物難民ということがあります。これは、大きなスーパーがありますが、やはり地元の商工業者が活性化するための支援が必要だと思います。</p> <p>また、日進市が住みやすいまちということは緑豊かな自然環境があることだと思います。その一翼を担っているのが農業の多面的な機能ということがあり、自然豊かな住みやすいまちになっていると思います。この維持というところを課題の1つに加えていただきたいと思います。</p>

	<p>そしてもう1つが、これからは女性が働く、女性の戦力化が必須であると思 います。子育てをやりながら働くということ、障害のある子どもさんがいらっ しゃる方もいますが、そういった方は放課後の預かりに合わせて仕事を終え なければなりません。非常に苦勞していると聞きますので、働く女性の対策と してそういった面もしっかりしていく必要があると思います。</p> <p>日進市が目指すべき方向性として、若者だけではなく高齢者も含めて全世 代が住みやすいまちという方向を目指すべきだと思います。行政の行うこと と合わせて、商工業、農業が活躍する日進市であるべきだと思います。</p> <p>また、核家族化が進んでおり、地域のコミュニティも希薄化していると感じ ます。市民参加型、市民協力型のまちづくりも必要だと思います。</p> <p>策定にあたっては、今回の色々な施策に対して具体策が出ております。より 実効性の高いものを可能な限り推し進めていただければと思います。</p>
委 員	<p>商工業ですが、今年度に入り経済が停滞し困っているということに加え、日 進市や東郷町で大型商業施設が乱立して非常に厳しい状況にあります。今年 度、商工会の会員が120店舗の倒産・破産を余儀なくされています。コロナ の関係だけではありません。近隣市町も同様に、既存の零細商店は廃業して います。先般、経済産業省へ陳情に行きましたが、どこの地域も同じ状況であり、 農・商工業は厳しい立場に置かれているとの話でした。特に近隣市町の中でも 日進市の置かれる立場は、長久手市と東郷町も同様ですが、人口の割合と量販 店の進出割合がかみ合っておらず、今までの商工会員、少なくとも零細の方が 圧迫されている状況です。人口は増えるに越したことはないですが、商工業者 は5,000人弱で、厳しい立場に置かれているということを配慮していただき たいと思います。</p>
委 員	<p>ここ数年、企業が頭を悩ませていることは採用が非常に少なくなっている ということです。日進市の工業関係は近隣のトヨタ関連に流れていき、3次産 業は名古屋市へ流れている状況です。10年前は多い時で新卒20名以上の 採用をしていました。今年は応募が3名でした。しかも市内には高校が何校も ありますが、応募は0名という状況です。大学もいくつかありますが、工業系 の学科があるところが少ないという具体的な原因もあります。これからの人 口ビジョンとして考えると、企業努力の中で企業の魅力を伝えていかなけれ ばならず、工場見学や就職研究の出前講座といった産業と学校の連携をして おりますが、官として産官学が一体となった、間を取り持つような施策に取り 組んでいただけると、目標とするまちの姿の「3 働きとにぎわい・活力支 えるまち」に繋がってくるのではないかと考えております。</p>
委 員	<p>人口が非常に大切だと改めて感じます。その中でも今後は、子育てするなら というテーマで若い世代を取り込むというプランが1つありますが、一方で 子育てを終えられたぐらいの方が転出超過になったということです。エリア の特性もあると思いますが、どのくらいの年齢の方が、どの地域から、どのよ</p>

	<p>うに感じて転出されるのかという、新しく呼び込む部分ではなく、将来的に定着されることをイメージして考えていくべきだと思います。そのためにはファクトファインディングといいますか、実態をしっかりと深掘りして、今後の施策に活かすことが必要だと思います。他の自治体も同じような課題を持っており、取り組んでいると思いますが、日進市は県下の中でも住みたいまちとして上のレベルにいと認識しています。強みの部分をより伸ばし、その部分を発信していくことで、ブランディングではないですけど、メリハリをつけてやることも必要ではないかと思っています。</p>
委員	<p>高齢の方の労働環境について、再雇用制度で仕事ができるようになっていますが、制度上、賃金が下がります。再雇用制度ができた時には国の給付金などがあつたのですがどんどん減少し、最終的には2030年にはなくなります。その時に同じような仕事をして、同じ賃金で働けるのか、そもそも高齢になつても同じ生産性が出せるのかという議論が進んでいます。早めに決着を付けなければと思っています。その中で、危険な言い回しかもしれませんが、男性は特に仕事が生きがいと感じている方もいます。そういった意味で長く働ける場を設けるといふことは、そこで得られる幸せがあります。逆に仕事にならなくなりやることがなくなった、生きがいなくなったとなりますので、なるべく生きる活力を与えるために労働が必要であると思っています。働く場があれば、転出を考えず定着する可能性もあると解釈しています。</p>
委員	<p>日進市のPRやプロモーションということがホームページなどで見ることができますが、市内外に向けてPRできる余地として色々な手段があると思います。SNSの活用も今は当たり前のようになっていますが、まちのメディアにしかできないこともありますので、活用いただければと思います。</p> <p>人口ビジョンの資料で、住みたいまちの姿として「いざという時に備え、安全で安心な生活ができるまち」について次世代を担う高校生が選んでいます。正直この項目が高いとは思っていませんでした。しかし、昨今、ウィズコロナもあり、安全安心で生活できるのかといふことは色々あると思いますが、若者はSNSなどで情報を入手できると思います。一方で高齢者などスマートフォンが苦手な方は情報入手の手段に限られます。他の手段としてテレビやラジオから情報を得るといふことはまだまだあります。安全安心に関する情報を市内の方々に向けて発信できるようにしていければと思います。若い世代や高齢者世代でニーズや状況が違いますので、そのあたりをきっちり整理して対応していただきたいと思っています。</p>
委員	<p>日進市にもいいところがたくさんあります。例えば人口が増えるということもプラスです。いい人材がいるという事実、緑が多いという事実があります。それを活かす、そういう施策展開があつてもいいと思います。緑が多いことをどのように活かすかという議論にまで繋がっていません。ここから人を呼び込むなどやれることはまだまだあるはずで、もう少し前向きな展開や</p>

	<p>議論をしてもいいと思います。市内の商工業に関する問題はありますが、それに対する市の対応が市民に対して愛着を持ってください、地産地消してくださいと呼びかけるものとなっています。ただ、それが何をもちて愛着なのか、地産地消が必要なことなのか、市民と歩み寄るような議論がないと思います。</p>
委員長	<p>これだけ人口が増え、さらに元気な高齢の方がおり、働き盛りも多いということは、学び直しやリカレント（回帰教育）のニーズが実はすごく多いのだと思います。会社内だけの訓練で終わるものではないと思います。おそらく名古屋市を除き、愛知県内でもこれほど大学を抱えている自治体はないと思います。大学と住民の方の間をつないで、働くためや生き続けるための再教育の必要性がもっと掲げられてもいいと思います。それだけの資産が日進市にはあると思います。</p> <p>もう一つは移動について、人と物の両方の移動の意味です。日進市ではずっと問題が指摘され、克服のための課題設定もされ、対策が講じられてきましたが、変更すれば評価が下がり、イタチごっこが見て取れる状況です。公共交通機関だけでなく、今は様々な民間サービスやデマンド型交通などをいち早く導入している自治体もあります。積極的に多様な交通手段を取り入れ、人と物の移動に貢献できるような自治体であってほしいと思います。未整備であるからこそ新しい手段で挑戦していくまちだと思います。今がチャンスで、従来型の方法で整備できていない分を整備しますという視点では、まちが変わっていかないとはいけません。</p> <p>議題（１）に戻り「第１期日進市総合戦略の総括について」ですが、いくつかの表現変更や追加などもあると思いますが、大きな方針などについて、この報告書の案を取って総括報告書として了解してもよろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
委員長	ありがとうございます。議題（１）は結審しました。事務局は今日いただいた意見を盛り込みながら報告書を作成してください。
	3 その他
委員長	事務局から説明をお願いします。
事務局	（第６次日進市総合計画策定スケジュールについて、資料３に基づき説明）
委員	事務局へ進行をお返しします。
事務局	本日のご意見を参考に、日進市人口ビジョンの内容を修正して作成したいと思います。また、追加のご意見がある場合は１０月末までに提出いただければと思います。
	4 閉会